

教育相談  
072-924-3892

情報推進  
072-992-3910

研究・研修  
072-924-0583

八尾市ホームページ <http://www.city.yao.osaka.jp/>  
(「教育委員会」のページよりご覧ください)

## 八尾の小さな巨匠展

日時：平成30年1月24日（水）～1月26日（金）

場所：八尾市文化会館「プリズムホール」 3階 展示室

「八尾の小さな巨匠展」は、八尾市内の小・中学校支援学級ならびに八尾市立特別支援学校、大阪府立八尾支援学校、大阪府立藤井寺支援学校の児童・生徒の作品を展示する作品展です。主催は八尾市教育研究会で、子どもたちの学習の成果を認め合い、作品展示を通して交流を深めるとともに、障がい児（者）教育に対する理解・啓発、そして共に生きる社会の実現の一助となることをめざし、毎年開催されております。

初日のオープニングセレモニーでは、八尾市立東山本小学校・八尾市立南山本小学校の児童と、八尾市立特別支援学校の生徒が児童・生徒代表あいさつをしました。その後、八尾市立南山本小学校の児童と八尾市立特別支援学校の生徒によるテ

ープカットで、幕を開けました。

展示された作品は、どの作品も子どもたちの個性と創造性に溢れ、まさに「小さな巨匠」と呼ぶにふさわしいものばかりでした。3日間の開催期間中は、子どもたちだけでなく保護者や市民の方も会場を訪れ、展示された作品を興味深く熱心に観賞されていました。

来賓の方々をはじめ、皆様のあたたかいご支援により、盛会のうちに作品展を終えることができました。



## 初任者研修閉講式

日時 平成30年2月15日（木） 15:00～17:00

場所 八尾市立教育サポートセンター 講座室

目的 初任者、新規採用教職員研修のまとめとして、この1年間の成果と課題について整理し、初任者、新規採用教職員としての資質と専門職としての知識・技能の一層の向上を図る。

4月より八尾市に赴任した小・中学校教諭、養護教諭、栄養教諭、事務職員が集まり、この一年を仲間とともに振り返り、その上で来年度、教職員として大切にしたいキーワードを3つ挙げ、語りあいました。今年度、初任者担当の上村 清 指導員による「今後、みなさんに期待すること」の講義を受け、「今後も、子どもとしっかり向き合い、子どもにとってよい授業とは何かを大切に、授業力向上に努力したいと思いました。」「目の前のことから逃げずに、懸命に取り組めば、解決できない問題はないと信じ、取り組んでいきたいと思いました。」などの感想が受講生からありました。

## 「遊びを通しての子育て学習会」

日時 平成30年1月27日(土) 14:00~16:00  
場所 八尾市立教育サポートセンター プレイルーム

「遊びを通しての子育て学習会」は、八尾市の就学支援事業の一つとして就園就学を控えたお子さんと保護者を対象に、お子さんとの「遊び」を通して子どもの成長・発達について保護者と共に考えることを目的に実施しています。

第3回目は、「からだを使って遊ぼう!」をテーマに実施しました。大型遊具を使って遊びながら、ルールを守ることの大切さを学んだり、バランス感覚を育んだりすることを目的としたプログラムです。

プレイルームでの大型遊具を使った遊びでは、滑り台やはしご・太鼓橋・トランポリンにチャレンジしたり、高い跳び箱からジャンプしたりと、ルールや順番を守りながら楽しんで活動していました。最初は恐る恐る遊んでいた子どもたちも、何度も繰り返していくうちに余裕が出てきたようでした。表情からも自信が芽生えてきている様子が見られました。

次に、保護者と子どもでペアになり一緒に棒を持って走る遊びをしました。『台風の目』の競技のように、目印を回って折り返し、次のペアにバトンタッチをしてリレーを楽しみました。

その後、保護者と一緒に「エビカニクス」を踊ったり、絵本の読みとどけをしたりしました。

最後は、子どもたちの大好きなパラバルーン遊びです。ドームを作ったり、曲に合わせてパラバルーンを動かしたりして楽しく活動しました。

今後も八尾市立教育サポートセンターでは、このような様々な活動を通じて子どもとのかかわり方等について保護者と一緒に考えていきます。



## 授業と講演（プログラミング教育先行研究校公開授業）

日時 平成30年1月31日(水) 14:45~17:00  
場所 八尾市立竹濑小学校 パソコン教室・図書室  
授業者 八尾市立竹濑小学校教諭 岡本 恭平 さん(4年1組)  
講師 帝塚山学院大学 教授 喜家村 奨 さん

本研修は、プログラミング教育に関する公開授業および講演会をもって、プログラミング教育の先行研究校における成果を広め、次期学習指導要領におけるプログラミング教育の必修化に向けた教員の指導力向上を図ることを目的に実施しました。この日は公開授業と講演会の二部構成で、前半の公開授業は総合的な学習の時間の視覚障がい者理解教育の一環として、プログラミングでLEDとブザーを使って音響式信号を作る、という内容でした。子ども達はタブレットを巧みに使い、意見を出し合ってプログラムを作成していました。後半は帝塚山学院大学の喜家村奨教授に「次期学習指導要領におけるプログラミング教育必修化に向けて」というテーマで講演をしていただきました。

参加した教員の感想には、「子ども達が相談しながら進めているのが素晴らしいと思った」「プログラミング的思考があらゆる分野で活かされるという事が納得できた」「講演の中にあつた実践例を実際にやってみたいと思う」などがありました。

